

★「いじめ問題を考える週間」心について考える！★

ここ数年、「いじめ」による痛ましい事件が全国で起こっています。そのような事件が起こるたびに、全校朝会や学活、道徳等でも取り上げてきました。みなさんもいじめについてはいろいろと考えることがあると思います。この問題はとても大切な問題です。溝辺中学校では4月6日（木）～12日（水）を「いじめ問題を考える週間」と設定しました。これをよい機会に、自分のことや友だちのことを、もう一度考えてみて下さい。気になる様子があれば、先生方にもぜひ相談してください。

◎「いじめ」ってどういうこと？

- ① 自分より弱い者に対して一方的に、
- ② 身体的・心理的な攻撃を継続的に加え、
- ③ 相手が深刻な苦痛を感じているもの。



個々の行為が「いじめ」に当たるかどうかは、いじめられた生徒の立場に立って判断します。つまり、やった側はその自覚があってもなくても関係ありません。つまり、やられた方がそう感じれば「いじめ」なのです。また、「いじめ」というと恐喝やリンチなどの凶悪で大胆なものを想像しがちですが、仲間はずれや無視、人間性を疑ってしまうような悪ふざけ的な暴言やいたずら等、人の目に届きにくいもの、気づきにくいものまで含まれます。

◎「誰にもわかってもらえない・・・。」

「いじめ」の被害にあっている人は、「腹立たしさ」「怒り」「悔しさ」「寂しさ」などの感情でいっぱいになっています。そういう気持ちでクラスにいと周りとの温度差（自分と他人との雰囲気の高低差）を感じてしまうのです。一人きりの居場所のない寂しさ……。自らの望みでひとりになったわけではありません。想像してみてください。

◎「どうすればいいの？」

被害にあっている人へ

黙って我慢することが「いいこと」ではありません。まず、誰かに相談しましょう。友だちでも、先生でも、親でも、誰でも構いません。話すことで、気持ちが楽になります。その後、自分はどうしたいのか、どうすればいいのか、その人と一緒にゆっくり考えましょう。

感情のまま行動し、知らずにいじめに関わってしまった人へ

皆さん、自分のことを振り返って見て下さい。自分の意ではなくとも、「いじめ」に関わっていることはありませんか？思い当たることがあれば、「誰か」や「何か」に対する思いを、そして、怒り・不満・不安等を誰かに話してみましよう。冷静に対処する方法を見つけるために・・・

